

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成29年1月12日(2017.1.12)

【公開番号】特開2014-105334(P2014-105334A)

【公開日】平成26年6月9日(2014.6.9)

【年通号数】公開・登録公報2014-030

【出願番号】特願2013-239216(P2013-239216)

【国際特許分類】

C 0 9 D 11/00 (2014.01)

【F I】

C 0 9 D 11/00

【手続補正書】

【提出日】平成28年11月28日(2016.11.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

インク媒体と、  
任意の着色剤と、  
相変化インク組成物の全重量に対して約0.1～約10重量パーセントの量のエチレン酢酸ビニルと

を含み、

エチレン酢酸ビニルは、酢酸ビニル含有率がエチレン酢酸ビニルの全重量に対して約1重量パーセント～約40重量パーセントである、相変化インク組成物。

【請求項2】

エチレン酢酸ビニルは、相変化インク組成物の全重量に対して約0.5重量パーセント～約5重量パーセントの量で存在する、請求項1に記載の相変化インク組成物。

【請求項3】

エチレン酢酸ビニルは、相変化インク組成物の全重量に対して約1.5重量パーセント～約5重量パーセントの量で存在する、請求項1に記載の相変化インク組成物。

【請求項4】

エチレン酢酸ビニルは、相変化インク組成物の全重量に対して約3重量パーセント～約5重量パーセントの量で存在する、請求項1に記載の相変化インク組成物。

【請求項5】

エチレン酢酸ビニルは、平均分子量が約30000～約150000ダルトンである、請求項1に記載の相変化インク。

【請求項6】

エチレン酢酸ビニルは、融点が約45～約120である、請求項1に記載の相変化インク。

【請求項7】

エチレン酢酸ビニルは、凝固点が約25～約100である、請求項1に記載の相変化インク。

【請求項8】

エチレン酢酸ビニルは、粘度が約150～約2000cpsである、請求項1に記載の相変化インク。

## 【請求項 9】

エチレン酢酸ビニルは、約 0.5 パーセント～約 5 パーセントの量で存在し、酢酸ビニル含有率がエチレン酢酸ビニルの全重量に対して約 5～約 13 重量パーセントである、請求項 1 に記載の相変化インク組成物。

## 【請求項 10】

エチレン酢酸ビニルは、相変化インク組成物の全重量に対して約 5 重量パーセントの量で存在し、酢酸ビニル含有率がエチレン酢酸ビニルの全重量に対して約 25～約 30 パーセントである、請求項 1 に記載の相変化インク組成物。

## 【請求項 11】

着色剤は染料であり、または、着色剤は顔料である、請求項 1 に記載の相変化インク組成物。

## 【請求項 12】

インク媒体は、ワックスを含む、請求項 1 に記載の相変化インク組成物。

## 【請求項 13】

インク媒体は、ポリメチレンワックス、ポリエチレンワックス、生分解性およびコンポスト化可能ワックス、生分解性およびコンポスト化可能ポリエチレンワックス、またはそれらの混合物もしくは組合せを含む、請求項 1 に記載の相変化インク組成物。

## 【請求項 14】

インク媒体は、相変化インク組成物の全重量に対して約 25 重量パーセント～約 65 重量パーセントの量で相変化インク組成物中に存在する、請求項 1 に記載の相変化インク組成物。

## 【請求項 15】

インク媒体は、モノアミド、トリアミドもしくはそれらの混合物を含む、請求項 1 に記載の相変化インク組成物。

## 【請求項 16】

インク媒体は、(a) ステアリルステアルアミド、(b) トリアミドもしくは(c) それらの混合物を含む、請求項 1 に記載の相変化インク組成物。

## 【請求項 17】

インク媒体は、イソシアネート由来材料、ウレタンイソシアネート由来材料、尿素イソシアネート由来材料、ウレタン/尿素イソシアネート由来材料もしくはそれらの混合物を含み、あるいはインク媒体は、1つまたは複数のアミドと1つまたは複数のイソシアネート由来材料との混合物を含む、請求項 1 に記載の相変化インク組成物。

## 【請求項 18】

インク媒体と、任意の着色剤と、相変化インク組成物の全重量に対して約 0.1～約 10 重量パーセントの量のエチレン酢酸ビニルとを含む相変化インク組成物をインクジェット印刷装置に導入し、

エチレン酢酸ビニルは、酢酸ビニル含有率がエチレン酢酸ビニルの全重量に対して約 1 重量パーセント～約 40 重量パーセントであり、

インク組成物を溶融させ、および

溶融インクの液滴を画像様パターンで基体上に射出させることを含む方法。

## 【請求項 19】

インク媒体と、

任意の着色剤と、

相変化インク組成物の全重量に対して約 0.1～約 10 重量パーセントの量のエチレン酢酸ビニルと、

を含み、

エチレン酢酸ビニルは、酢酸ビニル含有率が、エチレン酢酸ビニルの全重量に対して約 1 重量パーセント～約 40 重量パーセントである、相変化インク組成物を含有するインクジェットプリンタスティックまたはペレット。